

授業	【 G 】	教養演習Ⅰ・Ⅱ J	区 分		【 G 】 2		【 G 】 2+2	
科目名	【 H 】	教養演習Ⅰ・Ⅱ J	選 択 必 修	開講年次	【 H 】 2	単位数	【 H 】 2+2	
	【 I 】	教養演習Ⅰ・Ⅱ J			【 I 】 2		【 I 】 2+2	
科目区分	基本科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	体育・スポーツ／武道／オリンピック・ムーブメントに関する教育・社会的な意義、価値、課題の探究 ～今後の日常・学生・アスリート生活をより豊かにするために～			担当者	青柳 秀幸			
授業概要	【概要】	<p>本演習(ゼミナール)では、体育・スポーツ／武道／オリンピック・ムーブメントに関する教育・社会的な意義、価値、課題に着目し、それらについて歴史的観点とその他人文社会学的観点を活用してアプローチする方法を学びます。関連事象について、光(功)と影(罪)どちらかに傾倒することなく客観的かつ学術的な視点を大切にします。</p> <p>担当教員が開講するフレッシュマン・セミナーⅡとは異なり、本演習では、学生一人ひとりの主体性を特に大切にします。ゼミメンバーで試行錯誤、協働しながら、メンバー全体の前向きな変化、成長を目指します。スポーツの好き・嫌い、得意・不得意は問わず、君津学園および本学の理念である「真心」や「凡事徹底」を念頭に置きながら大学生活を豊かにしようとする学生さんを歓迎します。</p> <p>2025年度の大学祭＝清風祭における特別企画として初開催した〈スポーツ体験ブース〉のような企画を、本学の地域・社会貢献／交流活動として継続、発展させることも目指します。</p>						
	【到達目標】	<ul style="list-style-type: none"> ・体育・スポーツ／武道／オリンピック・ムーブメントに関する教育・社会的な意義、価値、課題について、人文社会学的な観点からアプローチして自身の見解を示すことができる ・歴史的観点を活用して物事を捉え、思考、意見、意思決定することができる ・学習内容をもとに自らテーマを設定して試行錯誤と考察を重ね、自身の見解を発表することができる ・学びの成果を自身の日常・学生・アスリート生活に接続、還元させようと試みることができる 						
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に履修し、学ぶこと ・他者の学びの時間、環境を尊重すること 							
アクティブラーニングの方法	【○】	事前学習型	【-】	反転授業	【○】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【○】	PBL	【○】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP (ディプロマ・ポリシー) ①	- (当てはまらない)						
	DP (ディプロマ・ポリシー) ②	◎ (よく当てはまる)						
	DP (ディプロマ・ポリシー) ③	◎ (よく当てはまる)						
	DP (ディプロマ・ポリシー) ④	- (当てはまらない)						
他科目との関連性	<ul style="list-style-type: none"> ・「現代社会とスポーツ」「スポーツ社会学」で扱うテーマが一部含まれる ・「現代社会とスポーツ」を受講済み or 併行受講していると、学びが繋がる部分が多分にあります 							
教科書	特になし。							
参考書	必要に応じて授業内で紹介する。							
評価方法	発言・発表・課題への取り組み・ワークシート (50%)、授業への参加態度 (50%) をもとに総合的に判断する。なお、演習における貢献はいずれかの項目への加点要素となる。							
フィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> ・発言、発表、コメント内容をもとにメンバー (学生・教員) 間で建設的にディスカッションする ・発言、発表、コメント等に対して教員が講評 (対面または文書) する 							
評価基準	授業の内容について適切に理解し、発言や発表、課題に積極的に取り組んだ者には「S」または「A」、不十分な点がある者にはその程度に応じて「B」または「C」とし、理解・発言、発表・課題がいずれも著しく不十分な者にはその程度に応じて「D」または「E」、評価不能は「F」とする。							

授 業 科目名	【 G 】	教養演習 I ・ II J	区 分	開講年次	【 G 】 2	単位数	【 G 】 2+2
	【 H 】	教養演習 I ・ II J	選 択 必 修		【 H 】 2		【 H 】 2+2
	【 I 】	教養演習 I ・ II J			【 I 】 2		【 I 】 2+2
授業内容	<p>本演習では、体育・スポーツ／武道／オリンピック・ムーブメントに関する教育・社会的な意義、価値、課題に関する基礎的な知識や、情報収集・整理、分析、解釈に関する基礎的な方法を学習します。その後、学生一人ひとりが課題に取り組んで学習・調査し、翌週 or 翌々週には成果を資料に基づいて発表します。</p> <p>学生が各々が関心をもつテーマについて調査、発表し、メンバー全員で建設的にディスカッションします。学びの過程および事後においても、メンバー全員で各テーマについて情報共有・ディスカッションに臨み、協働します。個性を活かした・尊重した自由な/色とりどりのテーマにメンバー全員で主体的に関わり、学び合ってください。</p> <p>2025年度の大学祭＝清風祭における特別企画として初開催した〈スポーツ体験ブース〉のような企画を、本学の地域・社会貢献／交流活動として継続、発展させることも目指します。</p> <p>～各回で取り上げる内容や学生が取り組む課題、学生が自ら設定するテーマの素材例～</p> <p>①大テーマ 体育・スポーツ／武道／オリンピック・ムーブメントに関する教育・社会的な意義、価値、課題</p> <p>②中テーマ 体育、武道、武術、生涯スポーツ、レジャースポーツ、ゆるスポーツ、遊び、人間形成、人格形成、身体形成、フェア・アンフェア、スポーツマン/パーソンシップ、インテグリティ、賭博、競争、指導、指導者、部活動、暴力、体罰、ハラスメント、宗教、政治、政策、権力、法、社会、地域、環境、自然、SDGs、グローバリゼーション、ビジネス、ドーピング、ナショナリズム、勝利至上主義、ルール、審判、観客、アントラージュ、応援、フリーガン、メディア、美、ジェンダー、障がい、共生、人権、差別、組織、ガバナンス、地域、コミュニティ、民族、人物、施設、スタジアム、クラブ、イベント、祭り、メディア、インターネット、SNS、ジャーナリズム、報道、文学、映画、漫画、アニメ、ビジネス、商品、商業化、産業、用具、ツーリズム、フィットネス、ボディビル など</p> <p>③小テーマ ①および②を基に、具体的に深掘りしていきます</p>						
予習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に提示された／自らに課した内容について短時間で作業せず、時間をかけて作業、反芻すること ・授業ごとの予習時間は120分程度を目安としてください 						
復習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・他のメンバーや教員の見解と自分の見解とを比較すること ・話題に挙げた論点、課題を整理し、解決に努めること。良かった点や個性を更に伸ばすこと ・授業ごとの復習時間は120分程度を目安としてください 						
その他	<p>受講者の興味・関心に合わせて授業内容を一部変更する場合があります。</p> <p>※G・H・I加：【 I は選択必修（A）・II は選択必修（B）】</p>						